

# 観光振興について

## 1 平成30年度の鳥取県の観光

○平成30年度は、県内外とのアクセス向上が確実に進展するなか、大規模イベントも開催され、効果的に誘客に導くことができる好機の一年。エリアそれぞれの観光資源を活かした地域の魅力向上と受入れ環境整備を図りつつ、全県的取組として国内外からの観光誘客を進めていく。

### 【平成30年度のトピック】

#### ■全方位的にアクセス性・周遊性が向上

- (陸) 「天地」、「昭和」など旅の目的となる観光列車や話題性の高い列車の運行、山陰道建設の進行
- (海) 大型クルーズ船の境港入港拡大、クルーズ新貨客船ターミナル建設の進行
- (空) 鳥取砂丘コナン空港「空の駅」グランドオープン

#### ■来訪動機となる大規模イベントや全国的なキャンペーン開催

- ⇒ 伯耆国「大山開山1300年祭」、第3回「山の日」記念全国大会
- ⇒ 山陰デスティネーションキャンペーン、JTB「日本の旬（瀬戸内・山陰）」キャンペーン
- ⇒ 砂の美術館第11期「砂で世界旅行・北欧編」、水木しげるロードリニューアル 等

○全県的な誘客効果、イベント等の盛り上げりを醸成するため、各市町村にもこれまで以上の連携・協力をお願いしたい。

(主な大規模イベント等)

### (1) 伯耆国「大山開山1300年祭」

(概要)

大山開山1300年を記念し、5月から11月にかけて大山圏域で切れ目なく様々な催事・イベントを展開。自然保護の聖地としての「大山」、山の恵み、魅力を地域が一体となってPR。

<主なイベント>

- 「第一章・開く」～祈りと山開き～ (5月中旬～6月中旬)
  - 開創法要 + 皆生・大山SEA TO SUMMIT 2018
- 「第二章・遊ぶ」～神事と山遊び～ (7月)
  - 水木しげるロードリニューアルイベント
- 「第三章・灯す」～献灯と山祭り～ (8月)
  - 第3回「山の日」記念全国大会 in 鳥取、伯耆国「大山開山1300年祭」記念式典
- 「第四章・調ふ」～秋祭りと継承～ (9月中旬～11月)
  - 大山ワンダーフォーラム + 1300本のたいまつ行列

(市町村と連携して進めたい取組)

○市町村が主体となって実施する大山開山1300年祭「協働・連携事業」の展開を通じた、県内外への情報発信、地域資源の磨き上げ、インバウンドを含めた観光満足度向上の取組

(協働・連携事業の例) 米子城・地藏信仰活用誘客促進事業(米子市)、展覧会「鳥取県の郷土刀」(倉吉市)、ヒメボタル鑑賞(日南町)、奥大山古道ウォーク(江府町)など

○1300年祭のPRへの協力と関連事業への参加

(PR例) 各市町村広報誌へのイベント情報の掲載、PRツールの活用(パンフレット、のぼり、ミニのぼり、公式ロゴマーク、缶バッジ 等)

## (2) 第3回「山の日」記念全国大会 in 鳥取

### (概要)

国民の祝日「山の日」の趣旨を広く国民に普及し、山に親しむ機会を創出するため、「第3回『山の日』記念全国大会 in 鳥取」を8月10日(金)、11日(土・祝)に米子市、大山町で開催する。

#### 【行事概要】

- ・レセプション … 8月10日(金) 午後(会場:米子市内)
- ・記念式典 … 8月11日(土・祝) 午前(会場:大山総合体育館(大山町))
- ・シンポジウム … 8月11日(土・祝) 午後(会場:米子市公会堂(米子市))
- ・歓迎フェスティバル … 8月11日(土・祝)  
《大山エリア》森の恵み感謝祭  
《米子エリア》里の恵み感謝祭・ステージイベント

### (市町村と連携して進めたい取組)

- ・大会連携イベントの開催と既存イベントでの大会PR

## (3) 山陰デスティネーションキャンペーン(DC)

### (概要)

○平成30年7月から9月にかけて行われる山陰地域への全国規模での誘客キャンペーン。北海道から九州まで全国のJR主要駅約1,500ヶ所にポスターが掲示され、国内大手旅行会社が集中的に山陰地域のツアー商品を企画販売する。

○近年のDCは大手旅行会社参加数の増加等によって事業規模が拡大し、観光地としての知名度向上やDCを契機とした定番商品化など経済効果も見込める。特に、山陰初の観光列車「天地(あめつち)」や鬼太郎列車リニューアルと併せて鳥取の魅力を力強く発信していく。

### (市町村と連携して進めたい取組)

- ・県全体で一丸となった誘客を図るため、観光客へのおもてなしや県外での情報発信イベント等に参加いただきたい。

## 2 観光資源を活かした地域の魅力向上の取組

「観光」は今後の成長産業化が見込まれており、誘客による経済効果のみならず、地域の活性化、地元の良さの再認識やブランド化、人材育成・活用、まちづくりなど広範囲な成果につながる。

### (1) 航空インフラを活用した地域振興

米子香港便や米子ソウル便を活用したインバウンドが地域の観光、地域経済の起爆剤になることが期待されるが、これら主要航空インフラを地域振興に活かしていくためには、市町村、民間事業者をはじめとする地域がアイデアを出しながら幅広く活用していくことが必要

米子ソウル便(エアソウル)	米子香港便(香港航空)
・運航日:週5便(火、木、金、土、日)	・運航日:週2便(水、土)
・12月搭乗率:57.8%(前年同月64.5%)	・12月搭乗率:76.7%(前年同月72.9%)

<市町村、関係団体、民間事業者と連携を進めたい取組>

- ・現地への観光プロモーションや外国メディア等の取材ツアーの受入れ
- ・地域特産品の輸出や地元企業の海外事業展開などの経済面での積極的な利活用
- ・文化・スポーツ等の地域間交流の促進

### (2) 受入れ環境の拡充

○団体旅行からのシフトが進み増加傾向の外国人個人旅行者は、自らが気に入った地域を周遊し、観光消費も期待できる存在

○外国人個人旅行者が周遊できる観光地であることは、観光地への理解やリピーター化、観光消費にも直接的に影響するため、多言語表記による案内、Wi-Fi整備、外国人への接客など市町村関係観光施設の受入れ環境整備を一層進めていただきたい。

**(3)魅力ある観光素材の磨き上げ**

鳥取県の魅力であるマンガや食、自然環境は、他県との差別化が可能な観光素材であるが、より多くの外国人観光客獲得に向けて、市町村、民間事業者をはじめとする地域が中心となってアイデアを出し、観光素材の掘り起こしや磨き上げ、商品化等に取り組んでいただきたい。

**【参 考】観光入込客数等**

平成22年に初の1千万人の大台に乗り、その後も1千万人の大台をキープしており、観光地として一定の認知、評価を得ている。

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
入込実人数 (千人)	9,196	9,054	9,197	9,823	11,224	11,209	11,459	10,909	10,084	10,440	10,127	—
宿泊実人数 (千人)	2,621	2,662	2,535	2,806	—	2,589	2,345	2,730	2,497	2,466	2,438	—
外国人宿泊者数 (延べ) (人泊)	—	15,300	14,890	14,020	32,690	31,810	39,490	46,850	58,830	103,430	100,320	112,820
観光消費額全体 (百万円)	—	—	—	—	54,754	40,395	58,426	82,871	79,288	68,546	64,164	—

(鳥取県 観光入込動態調査結果等)

・鳥取県観光入込客数のうち県外からの入込は約6割 (H28：645万人、H27：662万人、H26：659万人)

・平成28年の主要観光地の入込客数は9月までは好調だったが中部地震により打撃を受けた。

※宿泊実人数は平成23年より国の宿泊旅行統計調査の数値に切り替え(切り替えに伴い平成22年は欠損)

※観光消費額全体：平成22年以降調査項目に導入されたため、それ以前は「調査なし」(「観光庁」調査)

平成 29 年 10 月  
速報値